

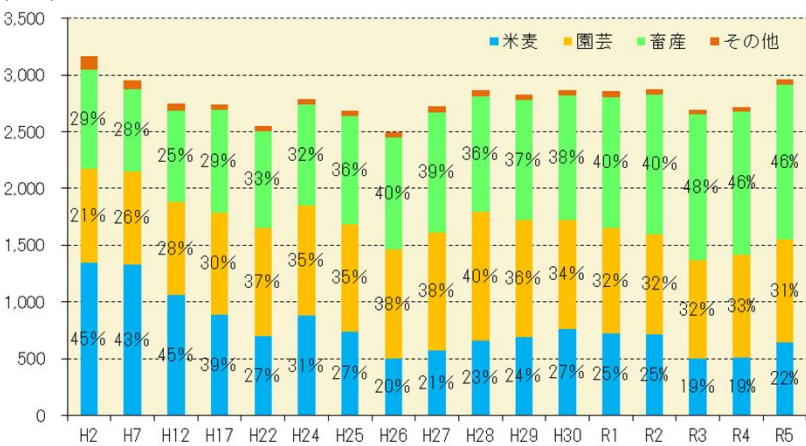
とちぎの農業のすがた



農業生産の動向

- 栃木県は大消費地である首都圏に位置し、平坦で広い農地、豊富な水資源、穏やかな気候など、農業に適した条件に恵まれています。
- これらの条件と農業者の優れた技術によって、日本一のいちごをはじめ、米、生乳、にらなど、全国に誇れる多彩な農産物が生産されています。
- 栃木県の令和5年の農業産出額は2,959億円、全国順位は10位となっています。

(億円)【農業産出額】



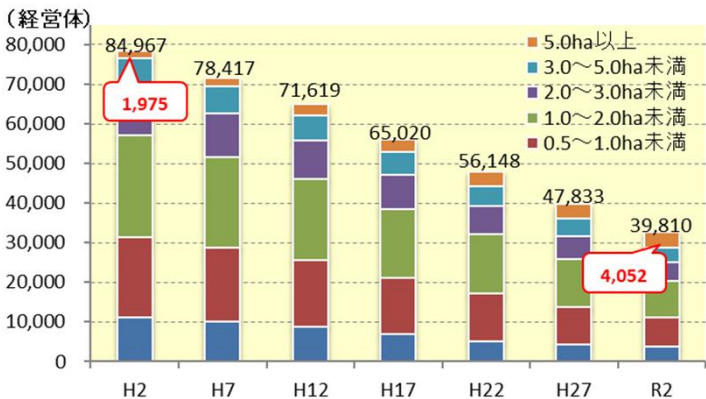
【とちぎの農産物産出額ベスト10】

順位	農産物	産出額(億円)	構成比(%)	全国順位
1	米	586	19.8	8
2	生乳	435	14.7	2
3	鶏卵	348	11.8	7
4	豚	279	9.4	10
5	いちご	277	9.4	1
6	肉用牛	251	8.5	6
7	もやし	106	3.6	1
8	トマト	78	2.6	8
9	なし	53	1.8	4
10	にら	49	1.7	2

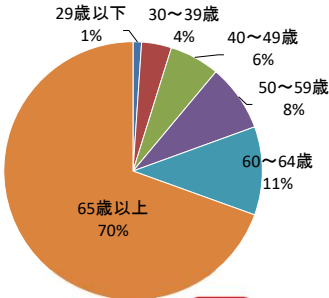
担い手の動向

- 農業経営体数は年々減少し、30年前の約4割となっており、基幹的農業従事者のうち約7割を65歳以上が占めています。
- 一方で、経営面積5ha以上の経営体は30年前の約2倍となるなど、経営の大規模化が進んでいます。
- 令和6年度は、363名の新規就農者を確保し、平成27年度から10年連続で300名を超えています。

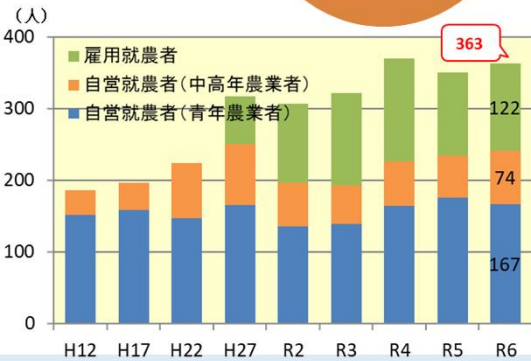
【経営耕地面積規模別農業経営体数の推移】 農林業センサス



【基幹的農業従事者の年齢別割合】



【新規就農者数】



農地の動向

- 耕地面積約12万haのうち、田の面積が約78%を占めています。

【耕地面積】

